

## 令和5年度 施設実態調査

この調査は、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会（日臨技）の事業活動の参考とするために、またこの調査結果が、日臨技にとって今後の活動に有効に活用できるものとなるように、部署責任者の考え方やご意見をお聞きするものです。率直なご意見をお聞かせください。

なお、この調査は検査部門の実態を把握するための調査であり、この目的以外には使用いたしません。また、個人情報保護の観点から、個人名が外部に漏れることはありません。

以下の【A】～【D】は施設情報を自動表示します。表示された内容を確認し、そのまま進むか、または正しい内容に変更できます。ただし、内容を変更してもデータベースの施設情報は変わりません。施設情報と回答に違いがある場合は、「調査回答が施設情報と異なります。日臨技事務局へ施設情報変更申請をおこなって下さい。」というメッセージと「施設登録用紙（PDF）へのリンク」が表示されますので、必要に応じて変更申請をお願いいたします。

設問数は25問程度で、およそ10分程度で終わります。また、途中でいったん中止しても、回答された内容は保存され、再度ログインすることで続けてご回答いただけます。基本的にスマートフォンでのご回答もできます。なお、実際に回答されるWeb上での設問内容は、都合により変更になる可能性があることをあらかじめご了承ください。

### 【A-1】施設大分類（単一回答）

(01)	一般病院Ⅰ（特定機能病院）	(02)	一般病院Ⅱ（地域医療支援病院）
(03)	一般病院Ⅲ（機能指定無し）	(04)	精神科病院
(05)	療養所（一般）	(06)	療養所（結核）
(07)	診療所（有床）	(08)	診療所（無床）
(09)	検診センター	(10)	健診センター
(11)	歯科（病院）	(12)	歯科診療所
(13)	研究所	(14)	保健所
(15)	血液センター	(16)	学校
(17)	衛生検査所	(18)	製薬会社
(19)	医療機器会社	(20)	その他

【A-2】：A-1で「20. その他」を選択した方は、詳細を入力してください（テキスト入力）

【B】実務実施状況（単一回答）

(01)	全て自施設で実施
(02)	主として自施設 + 一部ランチ
(03)	主として自施設 + 一部FMS
(04)	主として自施設 + 一部ランチ・FMS
(05)	主として自施設 + 一部外注
(06)	全てランチ検査室で実施
(07)	全てFMS方式検査室で実施
(08)	ランチ方式 + 一部自施設
(09)	FMS方式 + 一部自施設
(10)	ランチ + FMS + 一部自施設
(11)	外注 + 一部自施設
(12)	外注
(13)	その他（検査実施なし）

※ FMS：Flexible Manufacturing System（フレキシブル生産システム）

【C】設置母体（単一回答）

(01)	文部科学省Ⅰ（大学）	(02)	文部科学省Ⅱ（その他）
(03)	厚生労働省Ⅰ（大学）	(04)	厚生労働省Ⅱ（その他）
(05)	労働者健康安全機構	(06)	その他の省庁
(07)	都道府県	(08)	市町村
(09)	医師会	(10)	日赤（赤十字）
(11)	済生会	(12)	北海道社会事業協会
(13)	厚生連	(14)	国民健康保険団体連合会
(15)	JCHO	(16)	健康保険組合及びその連合会
(17)	共済組合及びその連合会	(18)	国民健康保険組合
(19)	公益法人	(20)	医療法人
(21)	学校法人	(22)	民間企業
(23)	その他の法人	(24)	個人
(25)	旧三公社		

【D】施設所在地都道府県

(自動掲示、修正可能)

【E】稼働病床数(単一回答)※病床数は、許可病床数ではなく一般病床数で回答してください。

1. 0床
2. 1~19床
3. 20~99床
4. 100~199床
5. 200~399床
6. 400~599床
7. 600~床

【F】臨床(衛生)検査技師数

施設内の全臨床(衛生)検査技師数(ア)	名	
	日本臨床衛生検査技師会 会 員 (イ)	正規職員 名
		非正規職員 名
	日本臨床衛生検査技師会 非会員 (ウ)	正規職員 名
		非正規職員 名

※ (ア) = (イ) + (ウ) となるように記入してください。

【G】臨床（衛生）検査技師数の内訳①

(工) 正職員	(才) 男性	25 歳未満	名
		25～29 歳	名
		30～34 歳	名
		35～39 歳	名
		40～49 歳	名
		50～59 歳	名
		60 歳以上	名
	(力) 女性	25 歳未満	名
		25～29 歳	名
		30～34 歳	名
		35～39 歳	名
		40～49 歳	名
		50～59 歳	名
		60 歳以上	名
(キ) 非正規職員	(ク) 男性	25 歳未満	名
		25～29 歳	名
		30～34 歳	名
		35～39 歳	名
		40～49 歳	名
		50～59 歳	名
		60 歳以上	名
	(ケ) 女性	25 歳未満	名
		25～29 歳	名
		30～34 歳	名
		35～39 歳	名
		40～49 歳	名
		50～59 歳	名
		60 歳以上	名

※ (工) = (才) + (力) となるように記載してください。

※ (キ) = (ク) + (ケ) となるように記載してください。

【H】臨床（衛生）検査技師数の内訳①（単一回答） ※対象は【A】施設大分類：(01)～(08)

(01)	大学病院本院群
(02)	DPC 特定病院群
(03)	DPC 標準病院群
(04)	出来高算定病院
(05)	その他

※ DPC：Diagnosis Procedure Combination（包括医療費支払い制度）

【I】臨床（衛生）検査技師数の内訳②（複数回答可） ※対象は【A】施設大分類：(01)～(12)

(01)	中央検査部・検査室	名	(02)	採血室	名	(03)	手術室	名
(04)	病棟（集中治療室）	名	(05)	病棟（ハイケア・救急病室）	名	(06)	病棟（一般）	名
(07)	救急外来	名	(08)	外来（一般）	名	(09)	管理（検査関連）	名
(10)	透析センター	名	(11)	内視鏡センター	名	(12)	心カテ室	名
(13)	事務系（医事・診療情報）	名	(14)	地域連携室	名	(15)	広報	名
(16)	情報・システム	名	(17)	医療安全推進室	名	(18)	治験・臨床研究	名
(19)	健診・検診センター	名	(20)	その他	名			

「(20)その他」を選択した場合、勤務している場所をお答え下さい。

( )

\* 【F】の(ア) = (01) + … + (20) となるように記載してください。

\* 業務を兼務している方については、業務割合で、1名につき、1.0名となるよう内訳を記入してください。

## I 貴施設における臨床（衛生）検査技師の労働条件について

【問1】貴施設の定年制度（役職定年は除く）は何歳ですか。（単一回答）

1. 58歳未満
2. 60歳
3. 60-62歳
4. 63-65歳
5. 66-67歳
6. 定年制度がない

【問2】定年後の再任用制度はありますか。(単一回答)

1. ある
2. ない

【問2-1】問2で「1. ある」と回答された方に質問です。

1. 再任用期間は3年以内である
2. 再任用期間は4年から5年以内である
3. 再任用期間に制限設定はない

【問2-2】問2で「1. ある」と回答された方に質問です。

1. 再任用に対し、欠員補充がある
2. 再任用に対し、欠員補充がない

【問3】貴施設には産休、育休・介護休暇など支援体制整っていますか。(単一回答)

1. 施設、部署ともに支援体制が整っている
2. 制度はあるが、部署として支援体制が整っていない
3. 制度そのものが整っていない
4. その他

【問3-1】問3で「1. 施設、部署ともに支援体制が整っている」と回答された方に質問です。

勤務施設に臨床(衛生)検査技師が活用できる育児支援はありますか。(複数回答)

1. 施設内に利用できる育児施設がある
2. 外部育児施設を斡旋してくれる
3. 育児に対する時短勤務制度が利用できる
4. 育児に対する時間外勤務(当直など)への配慮がある
5. 特に、育児支援制度が整っていない

## Ⅱ 学会・研修会への参加に係る費用の支援等について

【問4】学会・研修会等の参加に係る費用(参加費、交通費、宿泊等)は施設で負担してもらえますか。(単一回答)

1. 申請すれば、基本的に全額支援してもらえる
2. 部分的に支援してもらえる
3. 職場からの指示、演題発表など条件付きで支援してもらえる
4. 基本的に参加に係る費用の支援はない

【問5】各種認定の取得・更新に係る費用は施設で負担してもらえますか。(単一回答)

1. 申請すれば、基本的に全額支援してもらえる
2. 部分的に支援してもらえる
3. 施設からの指示、演題発表など条件付きで支援してもらえる
4. 基本的に参加に係る費用の支援はない

【問6】各種資格・認定を取得するメリットについて、どう考えていますか。(複数回答)

1. 自己キャリアプランの目標として必要である
2. 認定(資格)の取得に向けて勉強している
3. 2種類以上の認定(資格)を取得している
4. 診療報酬点数の要件として活用すべきである
5. 特に、認定(資格)の取得は考えていない

### Ⅲ 貴施設における検査部門の精度管理体制について

【問7】外部精度管理調査を受検されていますか。(複数回答)

1. 日本臨床衛生検査技師会
2. 日本医師会
3. 都道府県技師会
4. 都道府県医師会
5. 日本衛生検査所協会
6. その他
7. 参加していない

【問7-1】問7で「6. その他」を選択した方は、詳細を入力してください。(テキスト入力)

【問8】日臨技品質保証施設認証制度を知っていますか。(単一回答)

1. はい
2. いいえ

### Ⅳ 貴施設における採血及び検体採取業務の実施状況について

【問9】貴施設において臨床検査技師が採血行為を行っていますか。(複数回答可) ※対象は【A】  
施設大分類：(O1)～(O7)

1. 外来患者（一部を含む）を実施している
2. 病棟患者（一部を含む）を実施している
3. 実施していない
4. 該当なし

【問9-1】問9で「1. 外来患者（一部を含む）を実施している」と回答された方に質問です。  
採血に従事する臨床（衛生）検査技師の業務配分はどうか。（複数回答可）

1. 臨床検査技師のみで実施している
2. 採血専任の看護師が1名以上配置されている
3. 時間帯により、外来看護師等の支援を受けている
4. 採血業務の8割以上を臨床検査技師が実施している
5. 採血業務の8割以上を看護師が実施し、臨床検査技師が支援している
6. 採血専任（再任用職員など）の臨床検査技師が配置されている

【問9-2】問9で「2. 病棟患者（一部を含む）を実施している」と回答された方に質問です。  
どのようなタイミングで病棟採血を実施していますか。（複数回答可）

1. 早朝採血
2. 日中（随時依頼採血を含む）の採血
3. 検体不備による取り直し採血
4. その他

【問10】貴施設において臨床（衛生）検査技師が以下の検体採取（5行為）を実施していますか。（複数回答可）※対象は【A】施設大分類：(01)～(08)

1. 咽頭・鼻腔ぬぐい液の採取を実施している
2. 表皮並びに体表及び口腔粘膜の採取を実施している
3. 皮膚並びに体表及び口腔の病変部の膿の採取を実施している
4. 鱗屑、痂皮その他の体表の付着物の採取を実施している
5. 綿棒を用いて肛門から便の採取を実施している
6. 上記1～5の検体採取（5行為）の業務は実施していない

【問11】貴施設スタッフ「臨床検査技師」は「タスクシフト指定講習会」を受講していますか。  
（単一回答）

1. 全員が受講済みである
2. スタッフの7割以上が受講済みである
3. スタッフの5割以上が受講済みである
4. スタッフの3割以上である



5. スタッフの2割以下である
6. 受講済みのスタッフはいない
7. タスクシフト指定講習会の開催を知らなかった
8. 該当なし

【問11-1】問11で選択肢1～5（受講者がいる施設）に回答された方に質問です。受講料は施設が負担しましたか。（単一回答）

1. 施設が負担した
2. 受講者自身が負担した
3. その他

【問12】新型コロナウイルス感染症における検査体制の強化状況はどうか。（複数回答可）

※対象は【A】施設大分類：(01)～(12)

1. 感染症拡大に伴い、PCR検査を導入した
2. 感染症拡大に伴い、抗原検査（定量）を導入した
3. 感染症拡大に伴い、抗原検査（定性）を導入した
4. 検査体制の強化はしなかった
5. その他

【問13】新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、業務内容に変化はありましたか（複数回答可）※対象は【A】施設大分類：(01)～(12)

1. 検査体制の強化に伴い、業務が忙しくなった
2. 平時の検査業務が減った
3. 特に変化していない
4. その他

【問13-1】問13で「1. 検査体制の強化に伴い、業務が忙しくなった」と回答された方に質問です。業務拡大に伴い、施設内での人員配置の対応はどうか。（単一回答）

1. 体制強化に伴い、人員を増員した
2. 増員せず、人員の配置転換を実施した
3. 特に変化していない

## V 医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアについて

【問14】令和3年度の医療法改正とともに、臨床検査技師の現行制度下で実施可能な業務と整

理された 14 行為において、現時点（回答時点）で行っている項目を全て選んでください。（複数回答可） ※対象は【A】施設大分類：(01)～(12)

1. 心臓・血管カテーテル検査、治療における直接侵襲性を伴わない検査装置の操作
2. 負荷心電図等における生体情報モニターの血圧や酸素飽和度などの確認
3. 持続陽圧呼吸療法導入の際の陽圧の適正域の測定
4. 生理検査を実施する際の口腔内からの喀痰等の吸引
5. 検査にかかる薬剤（尿素、気管支拡張剤など）を準備して患者に服用してもらう行為
6. 病棟・外来における採血業務
7. 血液製剤の洗浄・分割、血液細胞（幹細胞等）・胚細胞に関する操作
8. 輸血に関する定型的な事項や補足的な説明と同意書の受領
9. 救急救命処置の場における補助行為の実施
10. 細胞診や超音波検査等の検査所見の記載
11. 生検材料標本、特殊染色標本、免疫染色標本等の所見の報告書の作成
12. 病理診断における手術検体等の切り出し
13. 画像解析システムの操作等
14. 病理解剖
15. 現時点では、上記行為について実施していない

※以下、臨床検査技師における現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について

医師の業務については、医療技術の高度化への対応や、患者へのきめ細やかな対応に対するニーズの高まり等を背景として、書類作成等の事務的な業務も含め、増加の一途を辿っていると指摘されている。こうした状況の中で、医師の時間外労働の上限規制が適用される令和6年4月に向けて、医師の労働時間の短縮を進めるためには、多くの医療関係職種それぞれが自らの能力を生かし、より能動的に対応できるようにする観点から、まずは、現行制度の下で実施可能な範囲において、医師の業務のうち、医師以外の医療関係職種が実施可能な業務について、医療機関において医師から他の医療関係職種へのタスク・シフト/シェアを早急に進める必要がある。このため、「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」における議論を踏まえ、現行制度の下で医師から他の医療関係職種へのタスク・シフト/シェアが可能な業務の具体例やタスク・シフト/シェアを推進するに当たっての留意点等について、臨床検査技師に関しては下記のとおり整理した。

①心臓・血管カテーテル検査、治療における直接侵襲を伴わない検査装置の操作

心臓・血管カテーテル検査・治療において、臨床検査技師が、医師の指示の下、超音波検査（血管内超音波検査を含む）や心電図検査、心腔内・血管内の血圧等の観察・測定等における直接侵襲を伴わない検査装置の操作を行うことは可能である。

②負荷心電図検査等における生体情報モニターの血圧や酸素飽和度などの確認

負荷心電図検査等の実施に当たって、臨床検査技師が、医師の指示の下、検査実施前に、患者に装着されている生体情報モニターの血圧や酸素飽和度などのバイタルサインを確認し、医師等と事前に取り決められた範囲の値になっているかを確認し、範囲内の場合に検査を実施することは可能である。検査実施中に異常等が認められた場合には、速やかに医師に報告する必要がある。

#### ③持続陽圧呼吸療法導入の際の陽圧の適正域の測定

睡眠時無呼吸症候群に対する持続陽圧呼吸療法導入の際に、臨床検査技師が、医師の指示の下、陽圧の適正域を測定し、調整する行為（脳波、心電図、呼吸の気流を検知するフローセンサー、いびき音を拾うマイクロフォン、胸壁・腹壁の拡張を検知する圧センサーの装着・脱着を含む。）を行うことは可能である。

#### ④生理学的検査を実施する際の口腔内からの喀痰等の吸引

生理学的検査を安全かつ適切に実施する上で必要となる喀痰等の吸引については、臨床検査技師等に関する法律（昭和 33 年法律第 76 号）第 2 条の「生理学的検査」に含まれるものと解され、医師の指示の下に臨床検査技師が行うことは可能である。

臨床検査技師が、生理学的検査を実施する上で必要な喀痰等の吸引を行うに当たっては、養成機関や医療機関等において必要な教育・研修等を受けた臨床検査技師が実施することとするとともに、医師の指示の下、他職種との適切な連携を図るなど、臨床検査技師が当該行為を安全に実施できるよう留意しなければならない。

#### ⑤検査にかかる薬剤を準備して、患者に服用してもらう行為

検査の実施に当たって、医師が処方・指示した 調剤済みの薬剤を患者に渡し、服用してもらう行為は、医行為に該当せず、臨床検査技師が当該行為を行うことは可能である。具体的には、糖負荷試験にかかるブドウ糖液や脳波検査にかかる睡眠導入剤、尿素呼気試験にかかる尿素錠を患者に渡し服用してもらう行為や、気道可逆性検査（呼吸機能検査）にかかる気管支拡張剤を患者に吸入してもらう行為を臨床検査技師が行うことが考えられる。ただし、異常な所見等が見られた場合には医師が適切に対応できる体制の下で行う必要がある。

#### ⑥ 病棟・外来における採血業務病棟・外来における採血業務

「医師及び医療関係職と事務職員等との間等での役割分担の推進について」（平成 19 年 12 月 28 日付け医政発 1228001 厚生労働省医政局長通知）においても示しているが、臨床検査技師は、病棟・外来において、医師の具体的指示の下に、診療の補助として採血（血液培養を含む検体採取）を行うことが可能であり外来のみならず、病棟における採血の業務についても、臨床検査技師を積極的に活用することが考えられる。

#### ⑦ 血液製剤の洗浄・分割、血液細胞（幹細胞等）・胚細胞に関する操作

アレルギー反応を呈する患者や小児・新生児において有効に血液製剤を使用するための血液製剤の洗浄・分割、血液細胞（幹細胞等）・胚細胞に関する操作には、適切な衛生管理及び精度管理を確保する観点から、必要な知識・技術を有する者が行うことが求められるが、必ずしも医師が行う必要はなく、血液製剤や細胞製剤や細胞治療の管理等に関する専門的な知識・技術を有する臨床検査技師を積極的に活用することが考えられる。

#### ⑧ 輸血に関する定型的な事項や補足的な説明と同意書の受領

輸血の実施に当たっては、輸血の必要性や輸血を行わない場合の危険性、輸血後の副作用等のリスク等について、患者に適切に説明した上で、同意書を受領する必要があるが、こうした輸血に関する説明と同意書の受領については、必ずしも医師がすべて行う必要はなく、輸血関連業務等に関する専門的な知識を有する臨床検査技師を積極的に活用することが考えられる。具体的には、臨床検査技師が、医師の説明等の前後において、医療機関が定めた輸血に関する定型的な説明事項（輸血療法や輸血関連検査や輸血関連検査の意義、輸血後の副作用等のリスク等）や補足的な事項についての説明を行い、医師と患者、家族等が十分な意思疎通をとれるよう調整するとともに輸血の同意書を受領することが考えられる。

#### ⑨ 救急救命処置の場における補助行為の実施

救急救命処置の場において、臨床検査技師は、臨床検査技師等に関する法律により診療の補助として実施することができることとされている生理学的検査や採血等に加え、患者の移送や血圧測定等の医行為に含まれない補助行為についても実施することが可能である。

#### ⑩ 細胞診や超音波検査等の検査所見の記載

臨床検査技師が、細胞診や超音波検査等の検査所見を報告書に記載し、医師に報告することは可能である。ただし、当該所見に基づく病状等の判断は医師が行う必要がある。

#### ⑪ 生検材料標本、特殊染色標本、免疫染色標本等の所見の報告書の作成

病理組織検査において、臨床検査技師が、病理医の指示の下、生検材料標本の組織所見、特殊染色標本の染色態度の評価、免疫染色標本等の染色態度の評価又は陽性細胞の計数・定量判定等についての報告書を作成することは可能である。臨床検査技師により作成された報告書については、病理医の確認と承認を受けた上で、臨床医へ報告される必要がある。

#### ⑫ 病理診断における手術検体等の切り出し

病理診断における手術検体等の切り出し（検体の写真撮影、組織片切り出し、カセット詰など）については、適切な衛生管理及び精度管理を確保する観点から、必要な知識・技術を有する者が行うことが求められるが、必ずしも医師が行う必要はなく、病理医との適切な連携の下で、検体採取や検体の管理等に関する専門的な知識・技術を有する臨床検査技師を積極的に活用することが考えられる。

#### ⑬ 画像解析システムの操作等

病理組織標本のうち、生検検体の標本や病理医が指定した手術検体の標本をスキャナーで取り込む作業、当該画像データの保管・管理、適切に画像を記録するために必要な装置の調整と管理については、検体の管理等に関する専門的な知識・技術を有する臨床検査技師を積極的に活用することが考えられる。

#### ⑭ 病理解剖

病理解剖に関して必要な知識及び技能を有する臨床検査技師が、死体解剖保存法（昭和 24 年法律第 204 号）に基づき、解剖をしようとする地の保健所長の許可を受けて、病理解剖を行うことは可能である。また、臨床検査技師が同法に基づく厚生労働大臣より死体解剖資格の認定を

受けている場合は、保健所長の許可を受けることなく、病理解剖を行うことが可能である。なお、臨床検査技師が病理解剖を行う場合において、臨床検査技師が標本の所見を客観的に記述することは可能であるが、当該所見に基づく死亡の原因についての判断については、医師が行う必要がある。

【問14-1】問14で「15. 現時点では、上記行為について実施していない」以外に回答された方に質問です。その行為の実施により、アクシデントは増えていますか。(単一回答)

1. 増えている
2. やや増えている
3. どちらでもない
4. あまり増えていない
5. 増えていない

【問15】令和3年度の臨床検査技師等に関する法令等の改正で追加された10行為において、現時点(回答時点)で行っている項目を全て選んでください。(複数回答可) ※対象は【A】施設  
大分類：(01)～(12)

1. 医療用吸引器を用いて鼻腔、口腔又は気管カニューレから喀痰を採取する行為
2. 内視鏡用生検鉗子を用いて消化管の病変部位の組織の一部を採取する行為
3. 運動誘発電位検査
4. 体性感覚誘発電位検査
5. 持続皮下グルコース(CGM)検査
6. 直腸肛門機能検査
7. 採血のため静脈を確保し、当該静脈路に接続されたチューブにヘパリン化生食など充填する行為
8. 採血のため静脈を確保し、当該静脈路に点滴装置を接続する行為(電解質輸液の点滴)
9. 採血のため静脈を確保し、血液成分採血装置に接続、機器操作、抜針及び止血する行為
10. 静脈を確保し、超音波検査のための造影剤の投与、抜針及び止血する行為
11. 現時点では、上記行為について実施していない

※静脈の確保について、以下、臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令等の公布の抜粋

改正法により、臨床検査技師の業務に、採血、検体採取又は生理学的検査に関連する行為として厚生労働省で定めるもの(医師又は歯科医師の具体的な指示を受けて行うものに限る。)が追加されたこと。これに伴い、改正省令により、この厚生労働省令で定める行為として、次に掲げるものが定められたこと。(臨床検査技師等に関する法律施行規則第10条の2として新設)

ア 採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に接続されたチューブにヘパリン加生理食塩水を



充填する行為

イ 採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に点滴装置を接続する行為（電解質輸液の点滴を実施するためのものに限る。）

ウ 採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に血液成分採血装置を接続する行為、当該血液成分採血装置を操作する行為並びに当該血液成分採血装置の操作が終了した後に抜針及び止血を行う行為

エ 超音波検査のために静脈路に造影剤注入装置を接続する行為、造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為並びに当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為（静脈路に造影剤注入装置を接続するために静脈路を確保する行為についても、「静脈路に造影剤注入装置を接続する行為」に含まれる。）

これに基づき、臨床検査技師がア～エに掲げる行為を行う場合は、医師又は歯科医師の具体的な指示の下に行う必要があること。また、臨床検査技師がエに掲げる行為を行う場合は、アナフィラキシーショック等が生じた場合には医師又は歯科医師が適切に対応できる体制の下で行うなど、安全の確保を十分に図るものとする。

【問 15-1】問 15 で「11. 現時点では、上記行為について実施していない」以外に回答された方に質問です。その行為の実施により、アクシデントは増えていますか。（単一回答）

1. 増えている
2. やや増えている
3. どちらでもない
4. あまり増えていない
5. 増えていない

【問 16】医師の働き方改革を進めるための「医師労働時間短縮計画」の策定に向けた院内における会議の開催状況はどうか。（複数回答可）※対象は【A】施設大分類：(01)～(12)

1. 開催された
2. 臨床検査技師が会議のメンバーとなっている
3. 短縮計画策定に向けて、検査部に相談があった
4. 現時点で、検査部に相談はない

## VI 業務認証、身分確立等について

当会は、患者の安心・安全のため、そして臨床検査技師の職域を守るため、現場実態に即した法の整備や政策の実現に向けた取り組みを行っております。現在、まだ多くの業務において臨床検査技師が法的に実施してよい内容なのか不安になりながら業務を全うしている実態があると考え

ており実態の把握が必要です。法的に実施可能か否か明確ではないものの、臨床検査技師が担うことで本当に国民のためになると感じている行為を教えてください。

【問17】現在、臨床検査技師が法的に実施できないと考えるものの、できるようになることで国民のためになると考える行為はありますか。(自由回答)

内視鏡関連業務：粘膜切除術の介助 等

心臓カテーテル検査：カテーテルアブレーションの介助 等

臨床検査技師への期待は現在、医療分野だけではなく介護・福祉分野のみならず、愛玩動物や畜産業など幅広く求められるようになりました。現状で我々が担っている臨床検査業務以外で、臨床検査技師が担うことで本当に国民のためになると感じている行為を教えてください。

【問18】医療以外で、臨床検査技師の需要があると感じる職域はありますか。(自由回答)

介護：ケアマネージャーとしての仕事内容、等

## Ⅶ 貴施設における医療安全体制について

【問19】貴施設において、医療安全室に配属の臨床検査技師、室への配属はしていないものの医療安全管理者資格（施設基準に準ずる）を取得した臨床検査技師はいますか。(単一回答) ※対象は【A】施設大分類：(01)～(12)

1. 医療安全室に配属の臨床検査技師がいる
2. 医療安全室への配属はしていないものの医療安全管理者資格（施設基準に準ずる）を取得した臨床検査技師がいる
3. どちらもいない

【問19-1】問19で「2. 医療安全室への配属はしていないものの医療安全管理者資格（施設基準に準ずる）を取得した臨床検査技師がいる」と回答した施設への更問。施設側の要請かどうかですか。(単一回答)

1. 施設側の要請により資格取得に至った
2. その他理由で資格取得に至った

## Ⅷ 貴施設（部署）における臨地実習の受け入れ体制について

【問20】貴施設スタッフ「臨床検査技師」は「臨地実習指導者講習会」の修了者が何名います

か。※対象は【A】施設大分類：(01)～(12)

修了者	名
-----	---

【問21】貴施設における現状として、臨地実習の学生を受け入れていますか。(単一回答) ※対象は【A】施設大分類：(01)～(12)

1. 受け入れている
2. 受け入れていない

【問21-1】問21で「1. 受け入れている」と回答された方に質問です。受入の状況はどうですか。(単一回答)

1. 自施設の附属養成校など特定の養成施設からのみ受け入れている
2. 依頼のあった養成施設を対象に受け入れている

【問21-1】問21で「1. 受け入れている」と回答された方に質問です。臨地実習の教育分野毎の実習カリキュラムに関連して教えてください。(複数回答可)

1. 日臨技「臨地実習ガイドライン2013」に準拠している
2. 独自に分野毎の実習カリキュラムを作成している
3. 特に実習カリキュラムは作成せず、各分野の担当者に任せている
4. 検体検査部門を中心に指導し、生理検査は見学程度である
5. 日臨技「臨地実習ガイドライン2021改訂版」を知っている
6. その他

【問21-3】問21で「1. 受け入れている」と回答された方に質問です。昨年度の臨地実習の受け入れ期間と人数をすべて教えてください。(複数回答可)

受け入れ期間	人数
1週間未満	名
1週間以上2週間未満	名
2週間以上1か月未満	名
1か月以上2か月未満	名
2か月以上3か月未満	名
3か月以上4か月未満	名
4か月以上	名

【問21-4】問21で「1. 受け入れている」と回答された方に質問です。生理学的検査に関する実習で実施する行為をすべて教えてください。(複数回答可)

1. 日臨技「臨地実習ガイドライン2013」に準拠している



2. 肺機能検査（スパイロメトリー）
3. ホルター心電図検査のための検査器具装着
4. 肺機能検査（スパイロメトリーを除く。）
5. 脳波検査
6. 負荷心電図検査
7. 超音波検査（心臓、腹部）
8. 足関節上腕血圧比検査
9. その他

【問21-5】問21-4で「9. その他」を選択した方は、詳細を入力してください。（テキスト入力）

【問21-6】問21で「1. 受け入れている」と回答された方に質問です。検体検査に関する実習で実施する行為をすべて教えてください。（複数回答可）

1. 血球計数検査
2. 血液塗抹標本作成と鏡検
3. 尿定性検査
4. 血液型検査
5. 培養・Gram 染色検査
6. 精度管理（免疫学的検査、血液学的検査、病理学的検査、生化学的検査、尿・糞便等一般検査、輸血・移植検査）
7. メンテナンス作業（免疫学的検査、血液学的検査、生化学的検査、尿・糞便等一般検査）
8. 臓器の切り出し及び写真撮影
9. 標本作成及びその報告
10. 血栓・止血検査
11. HE 染色や特殊染色検査
12. 病理標本観察
13. 細胞診標本作成と鏡検
14. 尿沈渣検査
15. 血液ガス分析検査
16. 交差適合試験
17. 不規則抗体検査
18. 同定・薬剤感受性試験
19. その他

【問21-7】問21-6で「19. その他」を選択した方は、詳細を入力してください。(テキスト入力)

【問21-8】問21で「1. 受け入れている」と回答された方に質問です。その他の実習で実施する行為をすべて教えてください。(複数回答可)

1. 検査前の患者への説明(検査手順を含む。)
2. チーム医療(栄養サポート、感染制御、糖尿病療養指導)
3. 検体採取
4. 採血室業務(採血行為を除く)
5. その他

【問21-9】問21-7で「5. その他」を選択した方は、詳細を入力してください。(テキスト入力)

【問21-10】問21で「1. 受け入れている」と回答された方に質問です。生理学的検査に関する実習で見学させている行為をすべて教えてください。(複数回答可)

1. 日臨技「臨地実習ガイドライン2013」に準拠している
2. 肺機能検査(スパイロメトリー)
3. ホルター心電図検査のための検査器具装着
4. 肺機能検査(スパイロメトリーを除く。)
5. 脳波検査
6. 負荷心電図検査
7. 超音波検査(心臓、腹部)
8. 足関節上腕血圧比検査
9. その他

【問21-11】問21-10で「9. その他」を選択した方は、詳細を入力してください。(テキスト入力)

【問21-12】問21で「1. 受け入れている」と回答された方に質問です。検体検査に関する実習で見学させている行為をすべて教えてください。(複数回答可)

1. 血球計数検査
2. 血液塗抹標本作成と鏡検
3. 尿定性検査
4. 血液型検査
5. 培養・Gram染色検査

6. 精度管理（免疫学的検査、血液学的検査、病理学的検査、生化学的検査、尿・糞便等一般検査、輸血・移植検査）
7. メンテナンス作業（免疫学的検査、血液学的検査、生化学的検査、尿・糞便等一般検査）
8. 臓器の切り出し及び写真撮影
9. 標本作成及びその報告
10. 血栓・止血検査
11. HE 染色や特殊染色検査
12. 病理標本観察
13. 細胞診標本作成と鏡検
14. 尿沈渣検査
15. 血液ガス分析検査
16. 交差適合試験
17. 不規則抗体検査
18. 同定・薬剤感受性試験
19. その他

【問21-13】問21-12で「19. その他」を選択した方は、詳細を入力してください。（テキスト入力）

【問21-14】問21で「1. 受け入れている」と回答された方に質問です。その他の実習で見学させている行為をすべて教えてください。（複数回答可）

1. 検査前の患者への説明（検査手順を含む。）
2. チーム医療（栄養サポート、感染制御、糖尿病療養指導）
3. 検体採取
4. 採血室業務（採血行為を除く）
5. その他

【問21-15】問21-14で「5. その他」を選択した方は、詳細を入力してください。（テキスト入力）

【問21-16】問21で「2. 受け入っていない」と回答された方に質問です。今後の臨地実習の学生の受け入れについて教えてください。（単一回答）

1. 臨地実習生の受け入れ準備を進めている
2. 臨地実習生を受け入れる予定はない
3. わからない

## IX 臨床（衛生）検査技師の人員確保（需要と供給）について

【問22】病院として、今後の検査室運営を人員配置の観点からお聞きます。（複数回答可）※  
対象は【A】施設大分類：(01)～(12)

1. 業務の効率化などにより、人員は削減傾向である
2. 業務拡大などにより、人員は増加傾向にある
3. 検体検査のランチ化が検討されている
4. ブランチラボから、院内運営に移行が検討されている
5. 現時点では大きな変化は見られない

【問23】検査室における最近5年間の人材確保（増員・削減）はどうか。（複数回答可）  
※対象は【A】施設大分類：(01)～(12)

1. 業務拡大などに伴い増員された
2. 業務の効率化（機器の導入など）に伴い削減された
3. 退職者の人的補充がない
4. 退職者の再任用は定員内で、あと補充は認められない
5. 産休・育休など欠員の補充（非常勤職員など）が困難
6. 特に大きな変動はない

【問24】求人募集に対する求職希望者の状況はどうか。（単一回答）※対象は【A】施設大  
分類：(01)～(12)

1. 求人枠に対し、5倍以上の求職希望者があった
2. 求人枠に対し、2倍以上の求職希望者があった
3. 求人枠に対し、求職希望者が枠に満たない場合がある
4. 求人枠に対して、求職希望者がいない場合がある
5. 求人枠に対して、（ここ数年にわたり）求職希望者がいない

## X 医療施策等に関する情報の入手について

【問25】医療情勢等に関する情報を積極的に入手していますか。（単一回答）

1. 日頃から入手している
2. 情報ツールが少なく、十分に入手できていない
3. 必要性を感じない

【問25-1】問25で「1. 日頃から入手している」、「2. 情報ツールが少なく、十分に入手できていない」と回答した方に質問です。普段どのような手段で情報を入手されていますか。(複数回答可)

1. 日臨技からの情報（通知文、HP、講演など）発信
2. 医療関連雑誌（MTJなど）の定期購読
3. 機器・試薬メーカーなどからの情報
4. 厚生労働省のホームページ
5. 医療関連情報サイトからの情報

以上

お疲れ様でした。大変ありがとうございました。